

アリエテ

コーヒーグラインダー  
(ドリップコーヒー用)

## KG59J

家庭用

このたびは、アリエテコーヒーグラインダーKG59Jをお求めいただきまして、誠にありがとうございました。製品を正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に、必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。また、お読みになった後も、保証書と共に大切に保管してください。




MADE IN CHINA


### もくじ

安全上のご注意.....	1～3	お手入れのしかた.....	9～10
各部の名称とはたらき.....	4	保管について.....	10
ご使用になる前に.....	5～6	仕様.....	10
使用手順.....	7～8	アフターサービスについて.....	裏表紙

# 安全上のご注意

1. ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」を最後までお読みください。
2. ここに示した注意事項は、製品を正しく安全にお使いいただき、あなたや他の人々への損害を未然に防止するものです。
3. 注意事項は、誤った取り扱いで生じることが想定される内容を、その危害や損害および切迫の度合いにより、「警告」と「注意」の2つに分け、明示しています。

 **警告** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 **注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

4. 各注意事項には、「注意」、「禁止」、「強制または指示」をうながす絵表示が付いています。



発火注意



感電注意



禁止行為



分解禁止



強制／指示



プラグをコンセントから抜く

## 電源について



**警告**

電源は、「15A 125V」と記されているコンセントから直接お取りください

それ以外のコンセントから電源をとると、火災や感電の原因となります。

15A 125V



電源は、家庭用交流100V 50/60Hzでご使用ください

それ以外で使用すると、火災や感電の原因となります。

200V



## プラグについて



**警告**

濡れた手でプラグの抜き差しをしないでください

感電の原因となります。



プラグに付いたホコリなどは取り除いてください

プラグにホコリがたまったらそのまま使用すると、火災の原因となります。定期的に取り除いてください。



**注意**

プラグを持って抜き差ししてください

電源コードを持たず、必ずプラグ部分を持って抜き差ししてください。電源コードを持って抜き差しすると、火災や感電の原因となります。



プラグはしっかりと差し込んでください

しっかり差し込まないと、火災や感電の原因となります。



プラグは電源OFFの状態で抜いてください

プラグの抜き差しは、必ず電源OFFの状態で行ってください。



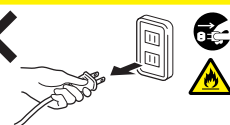
### プラグについて



**注意**

使用時以外はプラグをコンセントから抜いてください

火災の原因となることがあります。プラグがコンセントにつながっている間は、その場を離れないでください。



### 電源コードについて



**警告**

破損した電源コードやプラグ、コンセントは使用しないでください

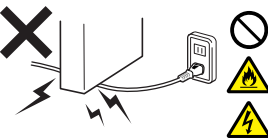
- 電源コードやプラグが破損していたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。感電、ショート、発火の原因となります。
- 使用中、電源コードやプラグが異常に熱くなる場合は、ただちに使用を中止し、お求めの販売店または弊社サービスセンター（裏表紙参照）までご相談ください。



**注意**

電源コードやプラグを乱雑に扱わないでください

電源コードやプラグを無理に曲げたり、物をのせたり、傷を付けたり、引っ張ったり、ねじったりしないように、ていねいに扱ってください。コードが破損して、火災や感電の原因となります。



### 使用場所について



**注意**

使用中はその場を離れないでください

お子様やペットがいる場合も注意を払ってください。



**注意**

平らで安定のよいテーブル等に置いて使用してください

不安定な場所に置くと、本機が転倒し、けがや故障の原因となります。



熱い表面や濡れた表面に本機を置かないでください

故障の原因となります。



### 使用上のご注意



**警告**

挽き刃および周辺部分に、指や異物を入れないでください



**注意**

持ち運びの際は、必ず本体を持ってください

ホッパー部分を持つと、本体が外れて落下する恐れがあります。



コンテナ（粉受け）を満杯にした状態で挽かないでください

粉が落下口に詰まり、モーター故障等の原因になります。



# 安全上のご注意(続き)

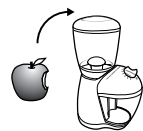
## 使用上のご注意



### 警告

他の用途で使わないでください

この製品は家庭用として設計されたコーヒーグラインダーです。コーヒー豆以外のものを入れたり、他の用途に使わないでください。



### 注意

異音がする時は、作動ツマミをOFFに戻してプラグをコンセントから抜き、挽き刃に異物がはさまっていないか確認してください

異物を取り除く際は、挽き刃で指を傷付けないように注意してください。



「から運転」はしないでください

材料を入れない状態で「から運転」しないでください。故障の原因となります。



他製品の部品や付属品を組み合わせず使わないでください  
故障、けが、火災の原因となります。



## 使用上のご注意



### 警告

改造や分解、修理はしないでください

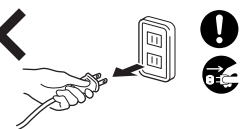
火災や感電、けがの原因となります。修理は、お求めの販売店または弊社サービスセンター（裏表紙参照）までご相談ください。



### 注意

お手入れの前に電源プラグを抜いてください

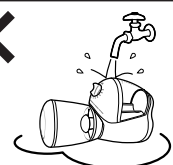
けがをする危険があります。



本体および電源コード／電源プラグは、水洗いはできません

表面の汚れは、固く絞ったふきんなどで拭き取ってください。

「お手入れのしかた」(9ページ)をご参照ください。



# 各部の名称とはたらき

## ホッパーふた

豆を挽く際は、必ずふたをしてください。  
最大容量：200g

## ホッパー（豆入れ）

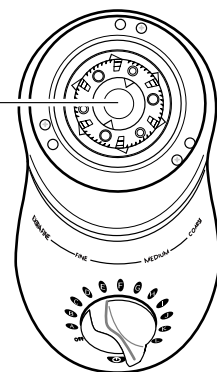
ローストしたコーヒー豆を投入します。

## 上部ミルホルダー

## 挽き刃

お手入れの際は、  
ブラシなどをご利用ください。  
(9ページ参照)

<本体を上から見た図>



前面

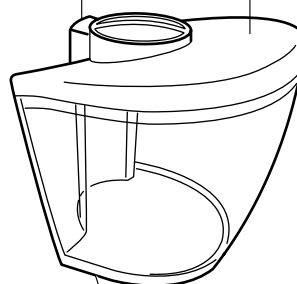
## ガイド

## 作動ツマミ（タイマー）

時計回りに回すと挽き刃が回転します。  
最長Lの位置で、約90秒作動します。  
※回転を途中で止める場合は、ツマミを元の位置（OFF）に戻します。

## 開口部

## コンテナカバー



## コンテナ（粉受け）

コーヒー粉が、最大約100gまで入ります。

## 本体底面

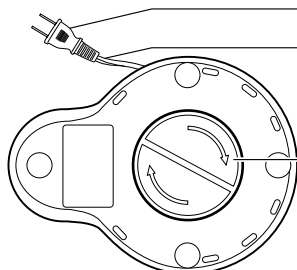
## 本体

## 電源プラグ

## 電源コード

## コード収納ツマミ

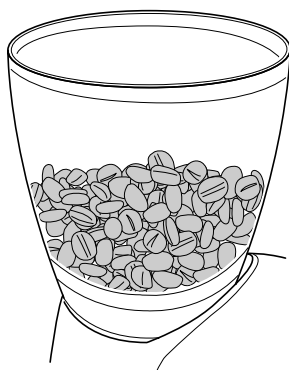
電源コードを持って引き出します。  
時計回りに回すと、利用した電源コードを収納することができます。




# ご使用になる前に

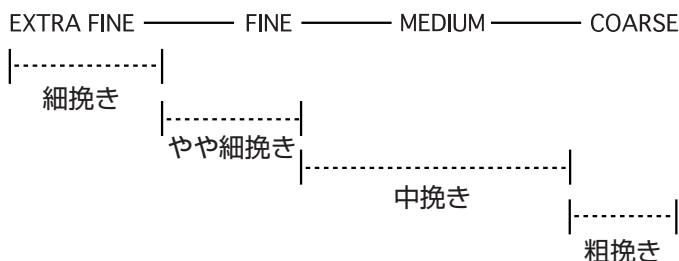
## 一回に挽くコーヒー豆の最大投入量は…

ホッパーには最大で約200gのコーヒー豆を入れることができます。

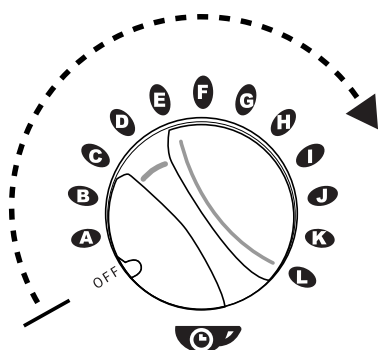


## グラインド目盛について

コーヒー豆を挽く際の粗さ（粒度）調節は、ホッパーを回してガイド  を希望のグラインド目盛に合わせることで行います。左端の「EXTRA FINE」に合わせると、一番細かい粉になり、右に行くほど粗くなります。右端の「COARSE」に合わせると、最も粗い粉となります。マキネッタ、ドリップ用などのコーヒーの淹れ方やお好みにより挽き具合を選択できます。



## 作動ツマミ（タイマー）について



- ・ Lの位置まで回すと、約90秒作動します。
- ・ ホッパーが正しく取り付け／固定されていない場合は、作動ツマミを回しても挽き刃は回転しません。
- ・ OFFにすると電源が切れます。
- ・ タイマーの目盛と必要なコーヒーの粉量については、6ページをご参照ください。

# ご使用になる前に（続き）

## グラインド目盛とタイマーの目安

ご利用になる抽出器具と抽出杯数に応じて、下記の表を参考にグラインド目盛と作動つまみを設定してください。

表 示		EXTRA FINE	FINE	MEDIUM	COARSE
		細挽き	やや細挽き	中挽き	粗挽き
抽出器具		マキネッタ	ペーパードリップ	コーヒーメーカー	パーコレーター
		モカマシン	サイフォン		
必要なコーヒーの粉量		約8～10g	約10～13g		約14～15g
目 盛	A	1杯			
	B				
	C				
	D	2杯			
	E	3杯			
	F				
	G	4～5杯			
	H				
	I				
	J	6～7杯			
	K				
	L				

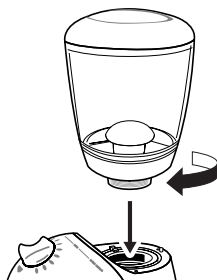
## ホッパーの取り付け／取り外しについて

ホッパーは、本体に取り付け／取り外しすることができます。

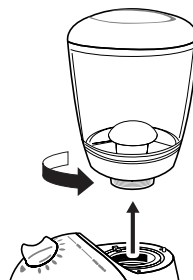
本体に取り付ける場合は、ホッパーを本体に垂直にカチッという音がするまで時計回りに回します。

ホッパーを取り外す際は、反時計回りに回します。

取り付け方



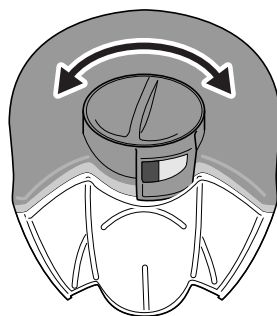
取り外し方



## コンテナカバーの開口部について

コンテナカバーには開口部が付いており、つまみを回すことによって開閉することができます。

コンテナを取り付ける際には、コンテナカバーのつまみを回し、開口部を開いておきます。開口部が開いた状態でないと、コーヒー粉がコンテナに落ちていきません。



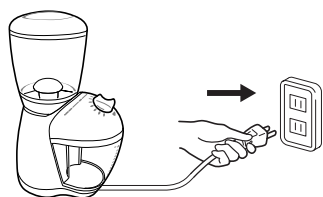
# 使用手順

## 1 コンテナカバーを開く

- ① コーヒー粉がコンテナに落ちていくように、コンテナカバーのつまみを回し、コンテナカバーの開口部を開きます。  
☞ 「ご使用になる前に」(6ページ)  
開口部を開いたら、コンテナを本体に取り付けます。
- ② ホッパーを本体と垂直に時計回りに回してセットします。  
☞ 「ご使用になる前に」(6ページ)

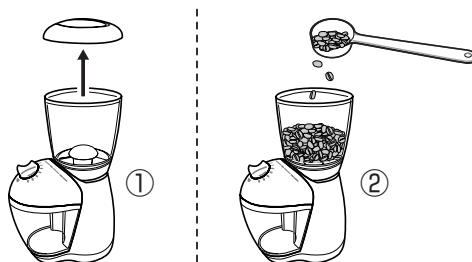


## 2 電源コードを引き出し、コンセントにプラグを差し込む



## 3 豆を入れる

- ① ホッパーのふたを取り外します。
- ② コーヒー豆をお好みの量だけ入れます。  
コーヒー豆を入れた後、ホッパーのふたが元通りしっかり閉まっているか確認してください。



### ⚠ ご注意

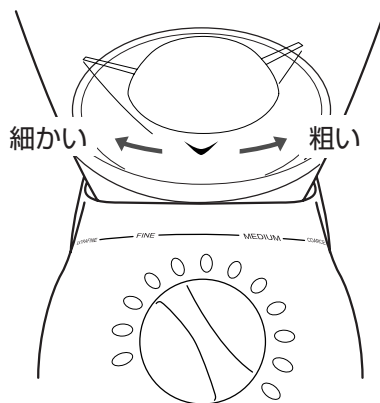
- 必ずローストしたコーヒー豆をご使用ください。

## 4 粗さを調節する

ホッパーを反時計回りに回して、ガイド ▼ のマークをお好みの粒度(粗い、普通、細かい)の位置にセットします。1段階調節するごとにカチッという音がします。目盛はふっていませんが、細挽きから粗挽きまで、8段階調節できます。

### ⚠ ご注意

- ホッパーを反時計回りに回しすぎると、カチッという音がしなくなり、ホッパー自体が外れてしまいます。





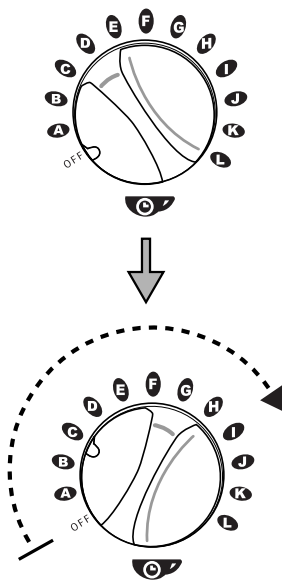
## 使用手順（続き）

### 5 豆を挽く

作動ツマミを右に回して電源を入れます。  
これでミルは豆挽きプロセスになります。このプロセス中、豆が落ちていかない場合、器具を軽くゆすってください（豆が油っぽい、または湿っているとこのようなことが起きます）。  
※運転中に止める場合は、作動ツマミを元の位置OFFに戻します。

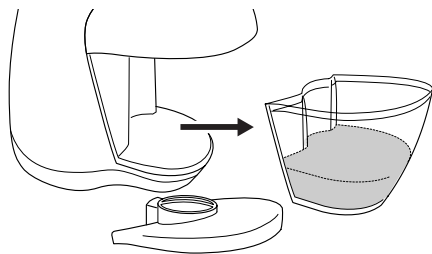
#### ⚠️ ご注意

- 豆を挽く前に必ずコンテナが所定の位置にあるか確認します。
- 挽いている間、ホッパーのふたは閉めておいてください。



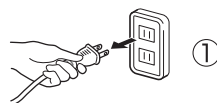
### 6 コンテナから粉をあける

コンテナを3～4回軽く手のひらでたたき、本体から取り出して粉をあけます。



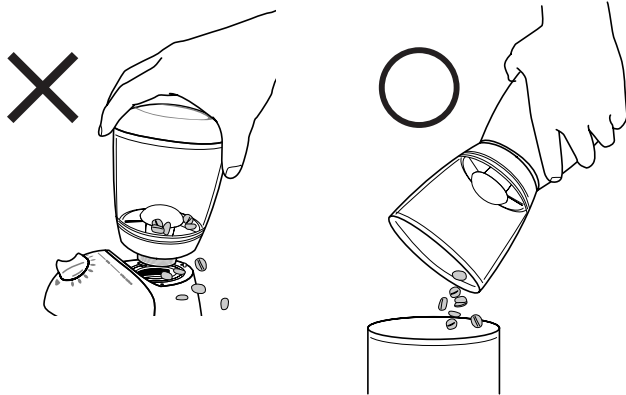
### 使い終わったら…

- ① プラグをコンセントから抜きます。
- ② その日のうちに、使用後のお手入れを行います。  
☞ 「お手入れのしかた」(9ページ)



### ホッパーに残ったコーヒー豆を取り出すには

ホッパーに残った豆を取り出すには、ホッパーをつけたまま本体を傾けふたを開け（右図参照）、容器等に戻してください。ホッパーは底がないので、豆を入れた状態で外すと、豆がこぼれ落ちます。



# お手入れのしかた

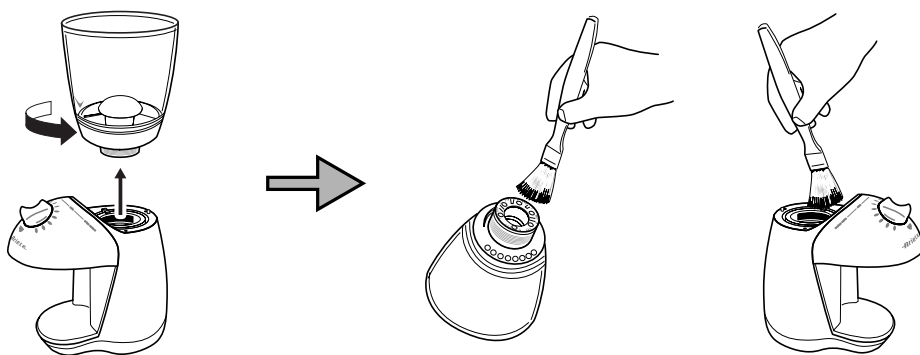
## ⚠ ご注意

- 必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- 食器洗い機や食器乾燥機などを使用しないでください。

## 水洗いできません .....

### ■ホッパー（豆入れ）、挽き刃

- ①ホッパーを矢印の方向に回して取り外します。
- ②ブラシでホッパー側の挽き刃及び本体側の挽き刃を掃除してください。

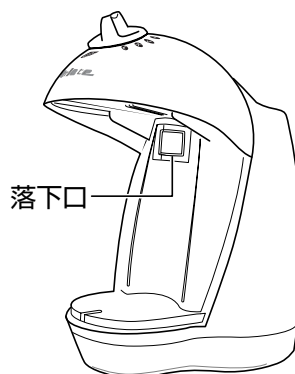


## ⚠ ご注意

挽き刃のお手入れは、まめに行ってください。挽き刃に付着したコーヒー粉をそのままにしておくと酸化し、新しいコーヒー粉の香りや風味を損ねます。

### ■本体

固く絞った濡れ布巾で拭きます。  
ひどい汚れは、少量の台所食器用洗剤をつけた布で拭き、その後、固く絞った濡れ布巾で洗剤をよく拭き取ってください。  
また、本体の落下口は、粉がたまりやすくなっています。使用後は毎回ブラシ等でコーヒー粉を払い落としてください。



## ⚠ ご注意

本体や電源コード、プラグは、水に浸けたり水洗いをしないでください。

# お手入れのしかた（続き）

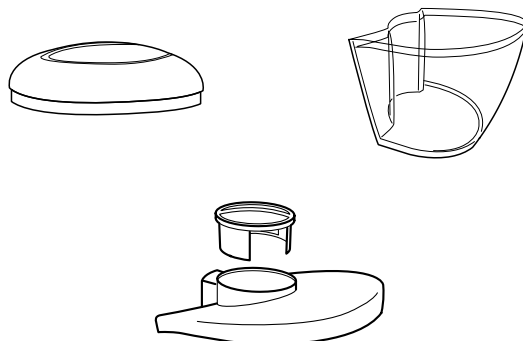
## 水洗いできます .....

### ■ホッパーふた、コンテナ

- ・台所食器用洗剤と柔らかいスポンジで水洗いします。  
本体には、よく乾かしてから取り付けてください。

#### ⚠ ご注意

クレンザーや金たわし、ベンジンやシンナー等は、  
使用しないでください。

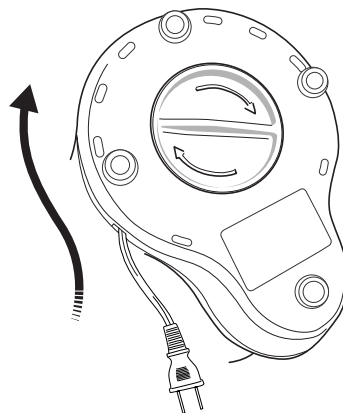


## 保管について

保管の際は、本体の底面にあるコード収納ツマミを  
矢印の方向に回し、電源コードを器具内部に収納し  
ます。

また、お手入れ後、製品の入っていた元の箱などに  
戻す場合は、各部が完全に乾いてから収納してくだ  
さい。

保管をする際は、なるべく乾燥した場所に置いてく  
ださい。

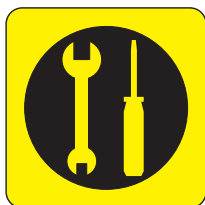


## 仕様

製品名称／型式番号		アリエテ コーヒーグラインダー／KG59J
定 格	電 圧	AC100V
	周 波 数	50/60Hz
	消 費 電 力	60W
外 形 寸 法		幅 110 × 奥行 170 × 高さ 290mm
ホッパー 容 量		最大 200g
コンテナ 容 量		最大 100g
部品名および材質		ホッパーふた：ABS 樹脂 ホッパー：AS 樹脂＋PC コンテナ：ABS 樹脂＋AS 樹脂 本体：ABS 樹脂
電源コードの長さ		1m
重 量		1.2kg

# アフターサービスについて

- 1)使用中に製品機能上問題が発生したときは、ただちに電源を切り、プラグをコンセントから抜いてください。  
その後、お求めの販売店または弊社サービスセンター（下記）にご相談ください。
- 2)万一、故障／損傷した場合は、保証書に記載されている販売店に**1.お求め時期 2.製品名称と型式番号 3.故障の状況**——を連絡のうえ、修理を依頼してください。なお、弊社サービスセンターにご依頼される場合は、お電話または直接宅配便でお送りください。宅配便の場合は、必ず故障の状況を記したメモを商品パッケージ（梱包箱）に同封してください。
- 3)保証期間中（1年）は、保証書に記載されているものについては、無償で修理いたします。ただし、安全上および使用上の注意を無視しての故障、規格外に改造をしたものは、その限りではありません。また、保証期間が過ぎたものについては、有償で修理いたします。
- 4)真心点検のお勧め：長い期間ご使用いただくために、専門技術者による点検・整備も実施しております。点検の依頼の方法、料金などにつきましては、弊社サービスセンターまでお問い合わせください。  
※下の枠内に、ご購入年月日を記入してください。点検の目安になります。



ご購入年月日:

年

月

日

## 5)デロンギ再資源化システムについて



ご不用になった製品は、下記の要領に従い、弊社サービスセンターまでお送りください。素材ごとに分別し、再資源化いたします。

送料について：再資源化の費用は弊社が負担いたしますが、送料はお客様のご負担（元払い）となります。予めご了承ください。

梱包について：製品の入っていた箱（元箱）に入れてお送りください。元箱がない場合は、段ボール箱に入れるか、エアパッキンにくるんでください。

※外箱または送り状に、必ず「再資源化」と明記してください。

以上、アフターサービスについてご不明の点がございましたら、お求めの販売店または弊社サービスセンターまでお問い合わせください。

## デロンギ・ジャパン サービスセンター▶（受付時間 土、日、祝日を除く毎日 9:30～18:00）

### ● コールセンター

修理について……………Tel. 0120-804-280  
Tel. 0120-692-885  
お問い合わせ……………Tel. 0120-064-300 / Fax. 045-450-3291  
Tel. 0120-692-880

● 横浜：〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-9 安田倉庫(株)内4号ビル

● 大阪：〒564-0044 大阪府吹田市南金田2-21-25

ホームページでのお問い合わせ（URL） <http://www.delonghi.co.jp>

**DeLonghi デロンギ・ジャパン株式会社**

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町1-5-6 第3大東ビル Tel.03-5256-6321（代）



再生紙を使用しています。